

体験コーナー進行例

保護者

地域教育推進ネットワーク東京都協議会 防災教育プロジェクト
作成協力 NPO法人プラス・アーツ

コーナー	家具の転倒防止策を体験
目標	阪神・淡路大震災でのけが人の半数以上が転倒した家具や、転倒によるガラスや食器等による怪我といわれている。実際のキットを使用し、転倒防止策があるものと無いものでの被害の実際を知る。
スタッフ数	1、2名
準備物	家具転倒防止キット ・NPO法人プラス・アーツからレンタル可能 ・地域消防署で作成、貸出しをしている地域もある 家具転倒防止策のグッズ 「地震ITSUMO」のホームページ資料 これまでの震災時の被害状況の写真 など
会場 平面図	机や床にキットとグッズを並べる。 説明の後は、席から離れて、倒れる様子が見やすい場所に移動してもらうようにする。
進行	<ol style="list-style-type: none"> 1 阪神・淡路大震災での被害について伝える。写真があれば使って説明する。 2 キットで、何も防止策が無いまま、揺らして家具の倒れ方を見る。 3 キットの防災策を、どのようにつけたらよいか、考えてつけてもらう。 4 防止策をつけたところで、揺らして倒れ方を確認する。 5 より効果的な防止策について、防止策をつけて揺らして違いを確かめる。 6 防止策の実物を自由に手にとってもらい、どのようにつけるか説明する。
進行上の 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の場合は、阪神淡路大震災の時の写真をみせて、具体的なイメージができるようにするとい。 ・賃貸など、壁に釘打ちして固定できない家庭もあるので、説明に配慮する。 ・「地震ITSUMO」HP「地震イツモキット 家具転倒防止」に阪神・淡路大震災の体験談が掲載されているので、説明時の参考とすることができる。 <p>http://www.jishin-itsumo.com/</p>



プラス・アーツのキット